

# 産学官連携に力

## とかち財団が理事会 理事長ら再任



十勝圏振興機構（とかち財団）は十日、帯広市の十勝産業振興センターで理事会を開き、二〇〇七年度の事業計画などを決めた。また、三月で任期満了する有塚利宣理事長ら役員が再任を決めた。

同機構は〇六年度、地域産業の育成、発展を旨とする「都市エリア産学官連携促進事業」（文部科学省所管）など十四事業を実施した。〇七年度は引き続き、「都市エリア」を実施するほか、十勝産加工品のPRなどに力を入れる。

再任された有塚理事長は「十勝は一つという前提で、財団に与えられた使命を果たしていきたくて」と抱負を述べた。

（幸坂浩）

その他の再任された役員は次の通り。

▽副理事長 砂川敏文  
 ・帯広市長、岩野洋一  
 ・帯広商工会議所会頭▽専務理事 藤村敏則氏

十勝圏振興機構の理事会  
 であいさつする有塚理事  
 長